

# ファッションビジネス学会 2022全国大会 プログラム

## 【午前の部】

会場：第2校舎

9:00	受付開始	1F 入口
10:00	開会挨拶 ファッションビジネス学会 東日本支部長 中村 賢二郎	
10:10～11:20	第Ⅰ部 基調講演  テーマ「歴史的な動きから紐解く“sustainability”の意味 —繊維・ファッション産業の対応はどうあるべきか—」  講師：日本繊維産業連盟 副会長 日本化学繊維協会専任副会長兼理事長 富吉 賢一 氏	2F SUGINOホール
11:30～13:00	昼食・休憩	1F 小ホール
11:30～16:10	第Ⅱ部 ポスタープレゼンテーション	1F エントランス

## 【午後の部】

13:00～16:10	第Ⅱ部 口頭研究発表	2F 2201教室 2202教室 2203教室 3F 2303教室
16:30～18:00	第Ⅲ部 交流パーティー(ビッフェ形式)	1F 小ホール

# 研究発表者 一覧表

【口頭発表】 発表20分 質疑応答5分 移動10分

	会場	第1会場(2201)	第2会場(2202)	第3会場(2203)	第4会場(2303)
	専門分野	創造・工業	商業	商業・生活	教育・総合
1	13:00 ~13:30	関西 クロキ レナ 黒木 怜奈  創造	東日本 シモムラ ユキコ 下村 友紀子  商業	本部(学生) シン ジエ チョウ イクエン 秦 臻穎・張 昱瑗 イチカワ トモミ 市川 智美  商業	東日本 スズキ ヤスヒサ 鈴木 康久  教育
2	13:40 ~14:10	本部 カマクラ サヤカ 鎌倉 明香  創造	西日本 ナリ ケイゾウ 南里 敬三  商業	東日本(学生) イズミ ユリコ モリタ ヒカリ 泉 優理子・盛田 ひかり オオハザマカエデ カミオカ テサキ 大峽 楓・上岡 千咲  商業	関西 フジタ サトル 藤田 悟  教育
3	14:20 ~14:50	西日本 オバタ ケイスケ 尾畑 圭祐  創造	関西 ハシオカ ミツル 播岡 充  商業	東日本 コダイラ アキラ 小平 明  商業	本部 アラカワ キョウコ 荒川 京子  教育
4	15:00 ~15:30	本部 ワカツキ ナリユキ 若月 宣行  工業	西日本 アオヤギ カオルコ 青柳 薫子  商業	関西(学生) オオハシ ミヅミ アキヤマ カオリ 大橋 美波・アキヤマ カオリ オギノ ミヅミ カフ ホノカ 小木曾 愛海・加藤 保乃歌  商業	東日本 スギノ キミコ 杉野 公子  教育
5	15:40 ~16:10	東日本 スミノ マサコ 住野 雅子  工業	本部 ナガサワ シンヤ 長沢 伸也  商業	本部 マツオカ エリコ 松岡 依里子  生活	関西(学生) バン ホノカ ハカマダ アイコ 坂 歩乃花・袴田 愛子 マルオ モモコ ムライ アカリ 丸尾 萌々子・村井 あかり  総合

【ポスタープレゼンテーション】 展示時間 11:30~16:10

会場：1F エントランス

	所属	発表者	専門分野
1	西日本	マツノ ナオアキ 松延 直明	商業
2	西日本	ツツミ マミコ 堤 麻実子	教育
3	東日本	シミズ アヤカ 設水 彩加	教育

## 研究発表 第1会場 / 【2201教室】

発表会場 / 時間	2201教室 / 13:00～13:30	分野	創造
発表者	クロキ シナ 黒木 怜奈 大阪文化服装学院 教員 (関西支部)		
共同研究者	カウ ヒロコ 加藤 弘子		
テーマ	「3Dモデリング教育におけるバーチャル研究」		
サブテーマ	～3DCGを活用した教育現場での可能性～		
キーワード	①3DCGにおける素材の表現方法 ②デザイン作業の効率性 ③実物との比較		
発表要旨	アートな作品を3Dモデリングし、実物にどこまで近づけるか検証。また素材の表現方法を研究する。		

発表会場 / 時間	2201教室 / 13:40～14:10	分野	創造
発表者	カマクラ サヤカ 鎌倉 明香 文化学園大学 助教 (本部)		
テーマ	白による創造性の再解釈		
サブテーマ	—20世紀以降の建築、芸術、ファッションの事例を中心に—		
キーワード	①白:white ②還元:reduction ③不在:absence		
発表要旨	本研究では、20世紀以降の建築、芸術、ファッションにおける特徴的事例を中心に、白がどのようにコンセプトや表現形態として取り入れられ、発展してきたかを見つめ直し、白による創造の可能性を再解釈することを目的とする。		

発表会場 / 時間	2201教室 / 14:20～14:50	分野	創造
発表者	オバタ ケイスケ 尾畑 圭祐 香蘭女子短期大学 准教授 (西日本支部)		
テーマ	地域ブランドにおけるソーシャルデザインの可能性		
サブテーマ	—幻の織物「箱崎縞」の還元について—		
キーワード	①地域ブランディング ②ソーシャルデザイン ③郷土染織		
発表要旨	福岡市への移住者増加に伴い、今まで受け継がれてきた伝統行事や地域性が希薄になることが懸念されている。 街と人とを繋ぐアイコンとして、福岡市箱崎で戦前まで生産されていた織物、「箱崎縞」を還元し、新たな商品開発を通して地域ブランディングを行った。		



## 研究発表 第1会場 / 【2201教室】

発表会場 / 時間	2201教室 / 15:00 ~ 15:30	分野	工業
発表者	ワカツキ ノリュキ 若月 宣行 文化学園大学 助教 (本部)		
共同研究者	タジマ セイジ 田島 成二		
テーマ	遠赤外線繊維「光電子」を利用したニットジャケットの試作		
キーワード	①光電子 ②ニットジャケット ③縫い代レス		
発表要旨	遠赤外線繊維「光電子」の糸を用いた縫い代レスのニットジャケットの試作を行った。光電子繊維の効果やコストを鑑み混率や編成難易度等を検討し、表側には羊毛、裏側に羊毛と光電子糸を配置する編成方法を考案し製作した。		

発表会場 / 時間	2201教室 / 15:40 ~ 16:10	分野	工業
発表者	スミノ マサコ 住野 雅子 杉野服飾大学 教授 (東日本支部)		
共同研究者	タカハシ ミカ 高橋 未華		
テーマ	消費者個人適合型商品工業生産創造システムの活用方法		
サブテーマ	—第6報 ジェンダーレス 学生服—		
キーワード	①ジェンダーレス ②アパレル3次元CAD ③メンズのチェストゲージ		
発表要旨	レディースのバストゲージの最頻値と比較し、メンズのチェストゲージの最頻値を求めた。ジェンダーレスの原型を研究開発することによって、中学生におけるジェンダーレス学生服パターンを検証し、快適な学生服パターンをアパレル3次元CADによって実証した。		

## 研究発表 第2会場 / 【2202教室】

発表会場 / 時間	2202教室 / 13:00 ~ 13:30	分野	商業
発表者	シモムラ ユキコ 下村 友紀子 杉野服飾大学 助手 (東日本支部)		
共同研究者	ソウトメ ユキコ クニベ アヤカ 五月女 由紀子 国部 彩夏		
テーマ	ファッションレンタルサービスairClosetのビジネスモデルの新規性		
サブテーマ	—AI・データサイエンスによる最適化—		
キーワード	①パーソナルスタイリング ②AI・データサイエンス ③循環型経済(サーキュラーエコノミー)		
発表要旨	サブスクリプション型ファッションレンタルサービス『airCloset』のビジネス戦略について考察する。ライフステージが多様化する女性の時間価値の向上、AI/データ活用によるパーソナルスタイリングと物流システムの構築、循環型経済(サーキュラーエコノミー)への貢献等を検証する。		

発表会場 / 時間	2202教室 / 13:40 ~ 14:10	分野	商業
発表者	ナシリ ケイゾウ 南里 敬三 大分大学国際教育推進センター 教授 (西日本支部)		
テーマ	ファッションモデルとファッション誌の親和性		
キーワード	①アイドル ②ファッションモデル ③ファッション誌		
発表要旨	ファッションモデルを中心に据えたファッション誌からアイドルを中心に据えたファッション誌への変容が起こっているようだ。個性が不明瞭なファッションモデルは20代女子から敬遠されているのかもしれない。		

発表会場 / 時間	2202教室 / 14:20 ~ 14:50	分野	商業
発表者	ハリオカ ミツル 播岡 充 大阪文化服装学院 ブランドマネジメント学科 学科主任 (関西支部)		
テーマ	メタバース(仮想空間)内における、ファッションビジネスの可能性について		
サブテーマ	—デジタルネイティブ世代を中心にした考察—		
キーワード	①メタバース ②Z世代 ③ファッションビジネス		
発表要旨	いまやさまざまな業界から熱視線を向けられている「メタバース」。なぜアパレルブランドが注目しているのか、またそこにはビジネスチャンスがあるのかについてZ世代を中心に考察したい。		

## 研究発表 第2会場 / 【2202教室】

発表会場 / 時間	2202教室 / 15:00 ~ 15:30	分野	商業
発表者	アオヤギ カオルコ 青柳 薫子 香蘭女子短期大学 教授 (西日本支部)		
テーマ サブテーマ	店舗の改装や除却に関する会計処理 —アパレル企業を想定して—		
キーワード	①改装 ②除却 ③リストラクチャリング引当金		
発表要旨	アパレル企業に見られる現象の1つとして、店舗の改装や移転等の機会がやや多く見受けられる。この現象はスクラップアンドビルドとも呼ばれる。前向きなスクラップアンドビルドの備えとして、予測される費用や損失の発生に備え、あらかじめ資金の計上(準備・補填)しておくことで、企業業績に与える影響は少なくなると思われる。アパレル企業の経営に必要な資金の会計処理について考える。		

発表会場 / 時間	2202教室 / 15:40 ~ 16:10	分野	商業
発表者	ナガサワ シンヤ 長沢 伸也 早稲田大学大学院経営管理研究科 教授 (本部)		
テーマ	国内ファッション・アパレルブランドの業績推移に見る現状とラグジュアリー化への課題		
キーワード	①ファッション・アパレルブランド ②ラグジュアリーブランド ③ラグジュアリー戦略		
発表要旨	国内ファッション・アパレル企業各社の業績推移を見ると現状は極めて厳しい。中価格帯市場の蒸発、過剰在庫問題、大量仕入れと安値販売の見直しを急がなければ存続は厳しく、ラグジュアリー化を目指す必要があることとその課題を述べる。		



## 研究発表 第3会場 / 【2203教室】

発表会場 / 時間	2203教室 / 13:00 ~ 13:30	分野	商業
発表者	<sup>ジン ジエ</sup> ①秦 臻穎 <sup>チョウ イクエン</sup> ②張 昱瑗 <sup>イチカワ トモミ</sup> ③市川 智美 文化ファッション大学院大学 (本部) ①②ファッションビジネス研究科ファッションマネジメント専攻2年 ③助教		
共同研究者/企業	<sup>オウムエン</sup> 応 夢媛 <sup>トウセイユ</sup> 唐 静榆 <sup>リュウエンエン</sup> 劉 燕燕 <sup>リュウホンユ</sup> 梁 鴻鈺 <sup>アオキ ミル</sup> 青木 稔 <sup>クマガイ マナブ</sup> 熊谷 学 株式会社アメリカ屋(株式会社KSG) パロニム株式会社		
テーマ サブテーマ	株式会社KSG・パロニム株式会社との共同研究 — DXを活用した非店舗型販売の可能性研究 —		
キーワード	①次世代型インタラクティブ動画技術 ②ソーシャルネットワーキングサービス ③プロモーション		
発表要旨	SNSを通じた動画配信における販促効果に関し、「コンテンツ量・投稿頻度・動画の質」の最適解を探究することが研究の趣旨である。研究は、株式会社アメリカ屋(株式会社KSG)およびパロニム株式会社と共同し、パロニム株式会社が開発した次世代型インタラクティブ動画技術「TIG Creator」を活用した。		

発表会場 / 時間	2203教室 / 13:40 ~ 14:10	分野	商業
発表者	<sup>イズミ ユリコ</sup> 泉 優理子 <sup>モリタ ヒカリ</sup> 盛田 ひかり <sup>オオハザマ カエデ</sup> 大峽 楓 <sup>カミオカ テサキ</sup> 上岡 千咲 杉野服飾大学服飾学部服飾学科ファッションビジネスマネジメントコース学生 (東日本支部)		
共同研究者	<sup>タケハナトモヤ</sup> 竹花 友哉 <sup>スズキ ヤスヒサ</sup> 鈴木 康久		
テーマ サブテーマ	Z世代の購買意識調査から見るSDG'sのファッション市場への影響 ~ファッションと社会的命題の相関性研究 PART.1~		
キーワード	①“デジタルネイティブのZ世代”の購買意識調査から見る定性分析 ②Z世代のSDG'sに対する価値意識 ③コロナ禍世代がもたらすファッション市場変化		
発表要旨	コロナ禍を経て激変するファッションビジネス市場の中で、Z世代がもたらす価値変化を追求していく。特に新しい市場の主役として活性化が期待され、その動向が注目されるZ世代の購買価値観に対する調査を通じて今後の市場変革ポイントを明らかにしていく。		

発表会場 / 時間	2203教室 / 14:20 ~ 14:50	分野	商業
発表者	<sup>コダイラ アキラ</sup> 小平 明 帝京大学短期大学 非常勤講師 (東日本支部)		
テーマ サブテーマ	持続可能なライセンスビジネスに向けた中間組織の維持について —サブライセンシーとしての服飾雑貨関連企業の販路の確保—		
キーワード	①ライセンスビジネス ②中間組織 ③総合商社		
発表要旨	ライセンスビジネスの衰退が指摘される中、単なるブランド拡張ではない持続可能なビジネスとしてそれを考える必要がある。中間組織の形態を維持することで販路を確保する服飾雑貨関連企業の取り組みについて、その成立のメカニズムを考察する。		

## 研究発表 第3会場 / 【2203教室】

発表会場 / 時間	2203教室 / 15:00 ~ 15:30	分野	商業
発表者	<small>オオハシ ミナミ</small> 大橋 美波 <small>アキヤマ</small> カオリ <small>オギノ アミ</small> 小木 曾 愛海 <small>カノウ ホノカ</small> 加藤 保乃歌 <small>国際ファッション専門職大学 学生 (関西支部)</small>		
共同研究者	<small>タカマ ユミコ</small> 高間 由美子		
テーマ	The BISHU Hotel		
サブテーマ	—交流と賑わいを100年先へ—		
キーワード	①地域産業文化資源 ②リ・デザイン ③つながり		
発表要旨	<p>世界三大毛織物産地のひとつである尾州地域はおおよそ130年もの歴史がある。その地域産業を支え、繊維の生産に適した機能性を備えるのこぎり屋根の建築物が約2,000棟も残る。私たちはこれらを地域産業文化資源と捉え、人々が集い、賑わいのある新たなファッション拠点にリ・デザイン。尾州地域の歴史や伝統、文化を次の100年につなぐ使節(アンバサダー)としてThe BISHU Hotelを提案したい。</p>		

発表会場 / 時間	2203教室 / 15:40 ~ 16:10	分野	生活
発表者	<small>マツオカ エリコ</small> 松岡 依里子 国際ファッション専門職大学 教授 (本部)		
共同研究者	<small>クラウチ ショウジ</small> 倉内 尚士		
テーマ	Z世代のワードローブ分析		
サブテーマ	—ファッションイメージとの関連から—		
キーワード	①ワードローブ ②ファッションイメージ ③Z世代		
発表要旨	<p>サステナブル社会における衣服選択研究の一部として、今回は、Z世代である服飾専門学生105名を対象に、ワードローブ調査を行った。好き—好きでない 着用している—着用していないの4つのカテゴリーにアイテムをわけ、ファッションイメージとどのように関連しているのかを考察した。</p>		



## 研究発表 第4会場 / 【2303教室】

発表会場 / 時間	2303教室 / 13:00 ~ 13:30	分野	教育
発表者	<small>スズキ ヤスヒサ</small> 鈴木 康久 杉野服飾大学 教授 (東日本支部)		
共同研究者	<small>タケハナトモヤ アマノ アリサ</small> 竹花 友哉 天野 有咲		
テーマ	産学連携型教育プログラムにおける効果測定と実例検証 (ステージⅡにおける検証 Part.1)		
サブテーマ	～ 環境問題・SDG'sへの取組み実践 ～		
キーワード	①産学連携型教育プログラム＝学生意識調査による効果測定 ②服飾系教育プログラムから環境問題・SDG'sへのアプローチ ③産学連携型プロジェクトから産学協創型プロジェクトへの変革		
発表要旨	激変するファッションビジネス市場の中で、服飾系大学に求められる教育リテラシーも大きく変化している。時代変化に整合性のある実践学を追求していく中で、本学FBMコースの受講学生の意識調査を含めた効果測定を中心に、産学連携型教育プログラムの実例を検証し、昨今求められる産学協創型への変革ポイントを明らかにしていく。		

発表会場 / 時間	2303教室 / 13:40 ~ 14:10	分野	教育
発表者	<small>フジタ サトル</small> 藤田 悟 中国短期大学 総合生活学科 准教授 (関西支部)		
テーマ	インストラクショナルデザインに有効な動画を用いた大学授業の学習効果(最終報告)		
キーワード	①ファッション教育カリキュラム ②インストラクショナルデザイン ③教育活動の動画効果		
発表要旨	大学教育の講義そのもののクオリティや効果を高める授業改革が進められている。「どのようにすれば最適なのかを模索していたところ、動画教育で理解度や満足度が増える可能性があるのでは」と考え、研究題材にした。		

発表会場 / 時間	2303教室 / 14:20 ~ 14:50	分野	教育
発表者	<small>アラカワ キョウコ</small> 荒川 京子 文化ファッション大学院大学 准教授 (本部)		
テーマ	ファッションのプロモーション動画のコンテンツに関する一考察		
キーワード	①プロモーション ②訴求効果		
発表要旨	ファッションの販売においてオンライン接客やライブコマースの導入が進む中、動画もひとつのツールとして活用されている。ファッションのプロモーション動画のコンテンツに関する一考察。		

## 研究発表 第4会場 / 【2303教室】

発表会場 / 時間	2303教室 / 15:00～15:30	分野	教育
発表者	スギノ キミコ 杉野 公子 東京家政大学 准教授 (東日本支部)		
テーマ サブテーマ	服飾造形動画教材に用いる模範教材のサイズについて —コロナ禍2年目の学びから—		
キーワード	①洋裁教育 ②動画教材 ③裁縫雛形		
発表要旨	コロナ禍1年目、ジャケット製作のための動画教材を作成した。模範教材が1/2大(裁縫雛形)のため、課題作品が実寸大の場合には問題があることが分かった。しかし、コロナ禍2年目、同様の学びに変化があり、模範教材が1/2大であっても実寸大の作品製作に問題がないことが確認できた。		

発表会場 / 時間	2303教室 / 15:40～16:10	分野	総合
発表者	バン ホノカ ハカマダ アイコ マルオ モモコ ムライ アカリ 坂 歩乃花 袴田 愛子 丸尾 萌々子 村井 あかり 国際ファッション専門職大学 学生 (関西支部)		
共同研究者	オオシマカズヨ 大島 一豊		
テーマ サブテーマ	ファッションコンソーシアム —サステイナブルなコミュニティ経済の創造—		
キーワード	①学生主体 ②クラウドファンディング ③サステイナブル		
発表要旨	「もっと気軽に、自由に、簡単に自分のアイデアで挑戦する場が欲しい」このような思いから、クラウドファンディングシステムを用いて学生、企業、消費者を繋ぎ、ファッションビジネスにおけるニューノーマルを実現したい。		



## ポスタープレゼンテーション 【1階 エントランス】

発表会場 / 時間	1階 エントランス / 11:30～16:10	分野	商業
発表者	マツブ ナオアキ 松延 直明 香蘭ファッションデザイン専門学校 ファッションビジネス科主任		
共同研究者	ムラカワトシキ 村川 俊樹 (西日本支部)		
テーマ	WITH コロナ時代の福岡ファッション		
サブテーマ	—新型コロナウイルス共生社会の福岡ファッショントレンド—		
キーワード	①福岡ファッショントレンド ②WHIT コロナ時代のファッション ③新型コロナウイルスの福岡ファッションへの影響		
発表要旨	アジアの玄関口であり、九州最大の政令指定都市である福岡。その福岡の中心市街地において、2019年から2022年まで継続的に実施した、街頭スナップ調査を基に、「WITHコロナ時代」が、独特の感性を秘める福岡のファッショントレンドに与えた影響を考察し発表する。		

発表会場 / 時間	1階 エントランス / 11:30～16:10	分野	教育
発表者	ツツミ マミコ 堤 麻実子 香蘭ファッションデザイン専門学校 ファッションデザイン科主任		
共同研究者	イチメイ タケン 一明 豪 (西日本支部)		
テーマ	サステイナブルファッションと教育		
サブテーマ	～ファッションロスゼロを念頭に置いたファッション教育～		
キーワード	①サステイナブルファッション ②アップサイクル ③SDGs		
発表要旨	現在サステイナブルな取り組みは一般化され始めているが、ファッション業界ではサプライチェーンが複雑に絡み、教育の場では指導が行き届いていない。そんな中、教育現場において今できる最善をテーマに、学生のサステイナブルファッションへの意識向上を目的とした3年間にわたる取り組みを報告する。		

発表会場 / 時間	1階 エントランス / 11:30～16:10	分野	教育
発表者	シミズ アヤカ 設水 彩加 杉野服飾大学 助教 (東日本支部)		
共同研究者	ナカムラ エリコ 中村 枝里子		
テーマ	装飾技法の活用について		
サブテーマ	—傾向と変化—		
キーワード	①装飾 ②技法 ③服飾		
発表要旨	杉野服飾大学モードクリエーションコース卒業制作では、様々な装飾技法を取り入れ作品制作を行っている。装飾は、コレクションでも色々なテクニックが見られ日々進化している。近年、本校卒業制作作品にみる装飾の傾向に変化がみられるようになったことから、実態を調査し、その変化を分析する。また、今後の授業へ繋がるように可能性も模索する。		